

第1回 特定地域WG2-2（愛媛県を中心とした地域） ワーキンググループ^o 開催報告

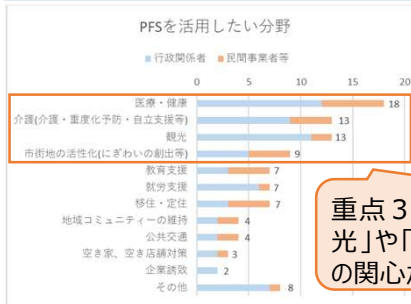
● 開催概要

開催日時：2022年11月30日(水)13:30～15:00
開催手段：松山市教育研修センター+オンライン(ZOOM)

● 開催内容

参加者情報

- ワーキンググループの登録者は69名
- 登録者の約7割が行政関係者、約3割が民間事業者等



重点3分野に加え、「観光」や「市街地活性化」の関心が高い

PFS勉強会

<講演概要>

- PFSの概要
- 従来型民間委託契約方式との違い
- 国内動向及び導入事例



当日の松山市教育研修センター会場の様子

講演①：堺市介護予防事業「あ・し・たプロジェクト」の導入に向けた取組

<講演概要>

- PFS導入に至った背景
- 事業概要/事業のポイント
- 予算計上と支払の流れ（当初/現在）
- 導入において苦労、よかったポイント
- 成果連動型委託契約成功のポイント
- 最終的なプロジェクト効果



※写真左から
堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課 多賀井氏、幸地氏

講演②：「健康寿命の延びる沿線」実現に向けた取組について

<講演概要>

- 取り組みの背景
- 2アプリ活用～介護のトータルサポート
 - ・産学官連携状況
 - ・日常行動変容支援
 - ・社会参加を軸とする介護予防
 - ・疾患重症化・再発予防（ICT活用）
- PFSの活用
 - ・事業の複数年、継続事業化による成果の拡大
 - ・中期アウトカム・評価指標の策定



阪急阪神ホールディングス株式会社
グループ開発室 西水氏

● 質疑応答概要

主な質問	回答
堺市では財政部門に対し、PFS事業の効果や意義についてどのように説得されたか。	財政部門から社会保障費の削減効果を示すよう指示があり、JAGESの先行研究を参考に算出した。当時の堺市長から財政部門に対しSIB手法を用いた事業展開ができないか指示があり、当課が事業提案を行った。
PFSの評価の方法を成果水準書の中でどのように記載されたか。	堺市では成果水準書は作成しておらず、公募時に提示した仕様書や支払条件等に記載した。

● 第1回開催のまとめ

- PFSの概要について講義形式で勉強会を実施し、その後堺市及び阪急阪神ホールディングスから先進事例について紹介を行った。
- 質疑応答では、PFSの事業化の過程や成果水準書など具体的な内容について関心が高かった。
- 第2回ワーキンググループでは、関心の高かったPFSの事業化の過程や、行政課題に対してどのようにPFSの導入可能性を検討していくかについて議論を行う。また、地域でPFSの普及促進を行う中で各ステークホルダーが担う役割についても議論を行う。